学校番号	T0203

令和８年度　教養

教科	教養	科目	教養講座	単位数	２単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主作成プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

教養講座を通じて礼儀作法を身につけ、集中力と思考力を鍛え、知的活動を活性化することをめざします。身近な生活の場面をとおして、書を生活に密着した形で活用できるようにするとともに、文字を書くことをとおして、書を自己表現の一手段として活用できるようになりましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
礼儀作法や筆の使い方について理解し、基礎的な知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫できる。
【学びに向かう力、人間性等】
文字を書くことをとおして、書を自己表現の一手段として主体的に活用しようとする態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	筆の使い方や楷書、行書の練習を通して、かなや漢字のバランスを考えて書けるようになる。また、年中行事で必要な挨拶状、手紙、表書きなどを書き進めることができるようになる。	書における基礎的な技能を活用し、自身の思いや意図を作品において表現できるようになる。	様々な題材について、自由な形式で書くことを通して、書に対する興味関心を高め、日常において主体的に書に触れようとする態度を身につける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	総合練習・制作	・筆の使い方。楷書、行書の練習。かな、漢字のバランスを考えて書く練習。	a: 筆の使い方や楷書、行書の練習を通して、かなや漢字のバランスを考えて書けるようになる。 c: 書に対する興味関心を高め、日常において主体的に書に触れようとする態度を身につける。	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察
	作品制作	・文化祭等に発表する作品の制作。	b: 書における基礎的な技能を活用し、自身の思いや意図を作品において表現できる。 c:積極的に作品制作に参加することができている。	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察
後期	小筆を使った制作	・筆の使い方。漢字の表現の練習。 かな、漢字のバランスを考えて書く練習。 ・住所、氏名をバランスよく書けるようにする。表書きの練習。 ・年賀状の制作。	a: 筆の使い方や楷書、行書の練習を通して、かなや漢字のバランスを考えて書けるようになる。 b: 書における基礎的な技能を活用し、自身の思いや意図を作品において表現できる。 c:積極的に作品制作に参加することができている。	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察
	総合練習・制作	・知人に手紙を書く。 ・百人一首を様々な形式で書く。	a: 筆の使い方や楷書、行書の練習を通して、かなや漢字のバランスを考えて書けるようになる。 b: 書における基礎的な技能を活用し、自身の思いや意図を作品において表現できる。 c:積極的に作品制作に参加することができている。	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察	・課題提出 ・観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度